

令和6年度 第2回 まつやま人口減少対策推進会議

運営幹事会 議事概要

(1) 開催日時・会場

開催日時：令和6年8月1日（木） 13:30～14:30

場 所：松山センタービル1号館 4－3

(2) 出席者

「令和6年度 第2回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

(3) 議事

1. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
2. 次期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
3. 令和7年度以降の官民連携の推進体制について

(4) 議事概要

1. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

- ・第2期総合戦略の令和5年度進捗状況について事務局から説明。

2. 次期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

- ・次期総合戦略の策定について事務局から説明後、意見交換。

（意見）

- ・内閣府という一つの組織が作った「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と自治体が独自で作成する「総合計画」のビジョンは一致しない部分もあると思うが、施策体系でずれが生じないように留意してほしい。

3. 令和7年度以降の官民連携の推進体制について

- ・事務局から説明後、質疑、意見交換。

（質疑・意見）

- ・これまでも人口減少の研究調査を行ってきたが、今後は大学とも連携を行いながら、外部評価に活用できるより精緻なデータ分析を行っていきけるとよい。
- ・前回の総会では、女性の活躍に期待する意見も多くあった。学生との連携も増やすことができると思う。
- ・人口が減ることで困るのは若者ではなく、これから社会保障を受ける世代。若者に押し付けるのではなく、人口減少が進む中でどのようにして影響を緩和していくかが重要。
- ・県内にデジタル人材の受け入れ先がなく、県外の大手企業で就職やインターンシップを行う若者が多く見る。若い方の話を聞くと、人口減少は自分と関係がない問題と感じている方が多いが、SDGs には関心のある方が多い印象。

- ・ 民間同士や官民の連携が進むような取組を後押しできるような仕組みが必要。
- ・ 人口減少対策は、これから松山市がどうやって人口を獲得していくかが重要。それに対して、SDGs は人口減少とは全く別の流れで進むものである。噛み合う部分もあると思うが、「住民満足度の向上」のようなもう一段上位の目的に向かって取り組んでいくことも必要。
- ・ グローバルの観点で見ると官民が一体となって社会課題に取り組むことは当然。新たな推進体制では行政と民間が一体となり、その中で役割分担を行い相互に評価、検証行うべき。
- ・ 官民で現状を動かしていくことができるような推進体制になると良い。それには様々な人の知恵が必要。もう一度、8月の幹事会で議論を行い、総会での提言に結び付けたい。